

[会計室]課 経営計画書（総括表）

■事務事業の総括

No.	事務事業名	様式 区分	H22 年度計画額（単位：千円）		H22 年度必要人工	
			H22 年度計画額	内特定財源	職 員	臨時職員
1	会計事務	B	3,000	0	3	0
合 計			3,000	0	3	0

事業別経営計画書【B】

■基礎情報

所属名	会計室	No.	1
事務事業名	会計事務・公金運用事務・備品消耗品管理事務		
及び主 び H 22 年 度 業 に 向 け た 改 善 点 等 容	<p>・「会計事務」</p> <p>大口町指定金融機関「三菱東京UFJ銀行」から手数料に関する要望（派出手数料・振込組戻手数料）や業務合理化に関する要望書が町長に提出されている。</p> <p>現在、振込手数料、振込組戻手数料等は「免除」となっているが、銀行の経営方針により、今後は必要に応じて費用負担が強いられることになる。</p> <p>今後、振込組戻手数料(エラー分)については、職員の努力により、少しでも件数が少なくなるように努める。</p>	<p>・「公金運用事務」</p> <p>公金の運用については、最も確実で有利な方法を基本としているため、現時点ではリスクの少ない国庫短期証券などを購入して公金の運用を図る。</p> <p>・「備品・消耗品管理事務」</p> <p>財政状況を考え、職員1人ひとりがモノ（事務用品等）を大切にすることをもち、自分の机の中などに眠っているモノの発掘や資源（事務用品等）の再利用などを図り、かつ徹底したコスト削減に努める。</p>	

■事業コスト

		単位	H20 年度決算額	H21 年度当初予算額	H22 年度計画額
事業費		千円	3, 132	3, 000	3, 000
(内特定財源)		千円	0	0	0
人工	職員	人工		3	3
	臨時職員	人工		0	0
	計	人工		3	3

■H22 年度計画額内訳

(単位：千円)

事業番号	節	科目名称	計画額	積算根拠
02	13	指定金融機関派出所出納事務委託料	1, 000	指定金融機関からの要望額は年間一人273万円（現状は100万円委託）
03	11	在庫消耗品	1, 980	21年度実績の見込み額
03	14	金庫	20	三菱東京UFJ銀行江南支店「貸金庫」

合 計	3,000	
-----	-------	--

■H22 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金 額	備 考
	0	
	0	
合 計	0	

- 会計室の予算は、政策推進課、行政課で計上
- 「会計事務」・「公金運用事務」・「備品・消耗品管理事務」に区分されているが、計画額との整合を図る上で「会計事務」として一つにまとめて計上
- 平成 21 年度・平成 22 年度の人工については、現状の事務事業を考慮して課長職以下の実人員を計上